

**平成28年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表**

法人名	社会福祉法人 洗心会	代表者	大木 元	法人・事業所の特徴	田園を望む閑静な場所に立地しており、春には桜、秋にはいちょうの並木を楽しむことができます。グループホームが併設されており、さらに同じ敷地内に、高齢者施設、障がい者施設、保育園、クリニック、薬局、があり、医療との連携や子供達との触れ合いなど、介護保険外事業にも対応できるようになっています。また、納涼祭やバザーなど、地域の方々を巻き込んだ法人全体での行事があります。	
事業所名	サンフラワーケアセンター	管理者	佐藤 誠			
出席者	市町村職員 1人	知見を有するもの 0人	地域住民・地域団体 2人	利用者 0人	利用者家族 1人	
					地域包括支援センター 1人	
					近隣事業所 0人	
					事業所職員 2人	
					その他 0人	
					合計 7人	
項目	前回の改善計画					意見
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の結果をもとに、計画的に改善を行っていきます。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の1～9に関してそれ取り組んだが、全体的に出来ていない点が多い。</li> <li>毎月の職員会議の議題にあげておらず、進捗管理が出来ていなかった。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要と判断し、玄関自動ドアに事業所名を表記し、目の前の駐車場入り口に案内板を設置しました。敷地全体の地図については法人として検討して参ります。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地全体の地図については設置には至っておらず、法人全体としての検討が必要。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回計画はありません。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>計画はありませんが、クリーンデイ（清掃活動）の際に地域のゴミ拾いを10月に1回実施。</li> </ul>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価（1～9）の、「次回までの具体的な改善計画」を一覧化し、それぞれの項目ごとに担当職員を決め、毎月の職員会議で進捗報告を行い、改善計画の確認を行う。</li> </ul>	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に来やすいよう、老人会の方を招待する行事を月1回以上計画し、行事のお知らせを配布の上定期的に参加していただく。</li> <li>運営推進会議の開催時に事業所の様子を見学していただく時間を設ける。</li> </ul>	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>白鬚神社で行われる年2回（4月・11月）のお祭り、元日の初詣への参加は毎年計画し、職員と利用者で地域へ出向く機会を確保する。</li> </ul>	

<p>・地域（桑絹地区）のイベントには出来るだけ利用者様と参加して参ります。自治会のお祭りに際しては4月に参加させていただきました。</p> <p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・地元の神社のお祭りに4月・1月と出向き、参加させていただき、今後も毎年継続して参加していく予定である。</p> <p>1月にも参加予定となります。</p> <p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・利用者の情報を集め、馴染みのお蕪麦屋さんや美容室等に連れて行けるとよい。</p> <p>・介護サービスは暮らしを下支えするものでなければいけないのでは、改善計画にあがつていた内容ではちょっと違うのかもしれない。</p> <p>・前回計画はありません。</p>	<p>・本人や家族に、送迎時や事業所に来園時、登録者以外のご近所の方で悩み等がある方がいないか、どうかを登録利用者又は家族の中から月に1回以上確認し、記録する。その中で相談につながった場合、事業所としての関わりを検討の上対応していく。</p> <p>・登録利用者本人や家族からご近所の情報収集を行い、その中の検討事例や改善提案を運営推進会議の際に委員全員で話し合い、地域での取り組みにつなげていく。</p> <p>・行政としては地域の相談拠点として成長してほしいので、先進事例を通して職員にも伝えたい。また上で取り組んでもらいたい。</p>	<p>・本人や家族に、送迎時や事業所に来園時、登録者以外のご近所の方で悩み等がある方がいないか、どうかを登録利用者又は家族の中から月に1回以上確認し、記録する。その中で相談につながった場合、事業所としての関わりを検討の上対応していく。</p> <p>・登録利用者本人や家族からご近所の情報収集を行い、その中の検討事例や改善提案を運営推進会議の際に委員全員で話し合い、地域での取り組みにつなげていく。</p> <p>・訓練の際には（民生委員に）連絡が入っています。</p> <p>・非常食の賞味期限が切れる前に、地域の方々に非常食の試食や炊き出しの練習等を合同で出来るとよい。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>				<p>平成29年3月15日作成 佐藤 誠</p>

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	1人	2人	10人

前回の改善計画

次の新規利用開始時から、本人のアセスメントを行った段階で本人の情報やニーズ(要望)、利用パターンを口頭又は書面にて現場におろし、現場スタッフ間で話し合い共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

アセスメント(利用者の課題分析)を行った段階で、できるだけ早く書類にし回覧する事で以前より早く職員へ周知されるようになった。しかし現場からは、まだ情報が少なく利用開始にあたって不安があるとの意見もあり、改善の余地がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	1	2	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	2	8	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	4	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 利用開始前には、本人・家族と面談した結果をアセスメントシート(利用者の課題分析の様式)にして申し送り、回覧している。
- そこない情報は質疑応答にて補足している。
- 利用開始後は本人が慣れるまで重点的に声掛け、情報収集を行い、不安を取り除ける対応を心掛けている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 事前情報について共有が図られているが、現場ケアスタッフとしては不充分と感じている。
- ケアマネジャーが知っていても時間的な制約から全てを書面に起こす事が出来ない情報があったり、利用開始までの期間が短く情報収集が十分に行われないまま利用に至るケースが多い事が理由。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- 新規の利用者様(利用開始後1カ月程度)については毎日の打ち合わせにおいて情報交換を行う。
- またケアスタッフが日々の関わりの中で気付いた事をアセスメントシート(利用者の課題分析の様式)に追記することで情報や生活の課題(ニーズ)の把握を進めていく。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成28年12月6日(14:00~16:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー 管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤（智）、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	1人	0人	9人

前回の改善計画

医務ノート、連絡ノートに本人からの聞きとり内容や訴え、気付きなどの記録を積極的に行い、共有し、生活の課題（ニーズ）の把握、またそのニーズに沿ったケアプランの変更等につなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

医務ノート、連絡ノートに本人からの要望や本人の状態などの情報がよく書かれるようになり、生活の課題（ニーズ）の把握・ケアプランへの反映につながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	7	1	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	8	0	2	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	3	2	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	5	2	2	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・本人の目標に対し、日々の関わりの中での訴えなどを記録し、職員会議やモニタリングの際にふりかえることでケアプランの検討材料としている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自ら意思表示をする事が難しい利用者様の「～したい」が把握できておらず、それに沿った長期目標を立てる事ができない。
- ・介護者（家族・職員）視点での支援の組み立てをしており、利用者様本人の気持や、声にならない声を吸い上げて目標にかえる力が足らないことが理由。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・全職員で本人の「～したい」を把握する為に、センター方式（認知症を持つ人の状態を知るための情報収集の様式）による本人理解を進める。
- ・また、「～したい」（長期目標）にはどのようなものがあるのか、例を調べ共有した上で、本人の発言等からそのヒントを医務ノートへ記録し把握につなげる。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成28年12月6日(14:00~16:00)
3. 日常生活の支援	メンバー 管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	4人	1人	8人

前回の改善計画

「言語化」の方法を具体化し、現場ケアスタッフが習得する。

前回の改善計画に対する取組み結果

「言語化」の方法の具体化、習得のためのアクションを起こすことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	7	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	1	8	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?	0	5	3	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	9	1	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか?	0	8	2	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の状態に合わせた基本的な介護ができており、通い利用中は体調や気持ちの変化にも応じた支援を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・「以前の暮らし方」や「声にならない声の言語化」については事業所として出来ていない部分の方が大きい。
- ・以前の暮らし方や本人の気持ちなどを集約して共有するためのツールを活用できていないことが理由。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・2. 「～したい」の実現と同様に、センター方式による本人理解を進める。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	6人	2人	9人

前回の改善計画

利用開始前で得られなかった情報をどのようにアセスメント(誰が、いつ、どのように等)して把握していくか、その手順を具体化する。

前回の改善計画に対する取組み結果

手順の具体化に対して具体的なアクションを起こせなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	4	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	6	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	4	5	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域での関わりの多い方については今までの関係性が継続できるよう、近所の方に挨拶をしたり、必要時は電話連絡で情報提供を行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・一部必要と思われる方以外については在宅生活を支える為の民生委員や地域資源の把握を、積極的には行っていない。
- ・理由として、民生委員の把握を直接ケアに結び付ける事ができるか疑問があつたため。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・ケアスタッフ全員で関わる為、現場ケアスタッフで割振り在宅利用者様のエコマップ(利用者と家族や社会資源との関係性を描き出した図)を作成する。
- ・1人で作成するわけではなく、不足部分についてはケアマネージャーを含めた全職員と協働して作成を進める。
- ・民生委員の照会についてはケアマネージャーが行う。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	5人	1人	8人

前回の改善計画

「地域での暮らし支援」と同様に地域資源の洗い出しや活用方法についてもアセスメントの中で行い、把握していく手順を具体化していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

(手順の具体化に対して具体的なアクションを起こせなかつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	4	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	1	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	8	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	1	6	3	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の資源として、医療機関などと連携をとり、一部必要な利用者利用者様には配食サービス、ゴミ出し支援、認知症カフェや地域開催の講習会の情報提供などを行っている。
- ・敷地内にクリニックがあり、体調不良時すぐにかかることができる。
- ・通いや泊まりをご本人やご家族の状況に合わせて柔軟に追加・変更している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・特になし。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・職員それぞれが多機能性と地域資源について意識して関われるよう、エコマップ(利用者と家族や社会資源との関係性を描き出した図)の作成を通して地域資源について学んでいく。作成にあたっては、あらかじめ地域資源の種類を周知した上で行う。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
6. 連携・協働	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	2人	5人	9人

前回の改善計画

高齢者サポートセンターへ会議の予定や参加可能か確認して頂き、今後は出来るだけ参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

該当する会議はなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	1	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	1	9	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	0	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	7	0	2	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・医療機関、訪問看護事業者との連携が図れている。
- ・また、サービス担当者会議に福祉用具業者に同席いただく事もある。
- ・集団指導等、行政主導の会合にも参加している。
- ・自治体のお祭りにも今年度は参加実績がある。
- ・敷地内に保育園があり、園児が来園したり、行事に地域住民の方に参加して頂いたりしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域ケア会議については開催の実績がない。理由として、開催には本人・家族の同意が必要であり、開催までのハードルが高い事がいえる。(過去に一度開催を打診したが家族の協力を得られなかった。)
- ・地域との連携を目的とした事業所の取り組みについて職員の認識が低い。理由として、運営推進会議の議事録などを現場職員が読む機会が作られていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・運営推進会議の議事録を現場用の回覧ファイルを使って周知し、現場職員が地域の方の声に触れる機会を作る。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
7. 運営	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	3人	3人	8人

前回の改善計画

H28年4月から、地域の方から頂いた相談に対し、事業所として提案できる事を提案していく。具体的には意見や相談を運営推進会議やその他の機会で受けたら、現場職員にもおろし職員会議の議題として話し合いアウトプットしていく枠組み作りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議でいただいた意見について、職員会議にて現場職員の話し合いに発展させることができなかつたが、地域の方の意見を取り入れ改善できるところは改善を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言っていますか?	2	3	4	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	1	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	5	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	7	2	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者様や家族からの意見については、改善につなげている。職員間で意見を言いやすい雰囲気がある。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・入職して間もない職員が多く、自分の事業所の特性や地域とのかかわりについての意識が低い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・「6. 連携・協働」と同様に、運営推進会議の議事録を現場用の回覧ファイルを使って周知し現場職員が地域の方の声に触れ、問題意識を共有する機会を作る。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	3人	4人	9人

前回の改善計画

法人内の力量認定制度を活用し、個別に研修の計画を立て実施していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

11/30に力量認定を行った。今後、個別の研修計画を立て、実施していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	1	3	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	2	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	8	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	3	3	3	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・個人レベルでの外部研修への参加や、件数は少ないが内部研修も実施している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・人員が安定しなかった為、研修が計画通りに実施出来ていない。
- ・また、入職1年目の職員が多いため、リスクマネジメントに関する意識や知識が不足している。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・研修の計画を再度(12月中)に立て直し、再度実施していく。
- ・リスクマネジメント(危機管理)については、学び直す機会をつくる。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年12月6日(14:00~16:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者佐藤、ケアマネージャー菊田、リーダー福田、ケアスタッフ佐藤(智)、大平、牧野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	2人	1人	7人

前回の改善計画

「質を向上するための取り組み」と同様に、研修等を詳細に計画し、実施していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修の実施には至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	7	3	0	0	10
③	プライバシーが守られている	2	8	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	3	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・法人として原則身体拘束は行わないとしており、今まで行った事例はない。
- ・虐待は2ヶ月に1回高齢者虐待発見チェックリストにて利用者、家族、職員に聴き取りをし、予防・早期発見につなげている。また、必要な方には成年後見制度を活用している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修を十分に行う時間を創出出来ていない為、身体拘束についての研修が行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・研修計画に沿い、身体拘束についての研修を年1回以上行う。

平成28年度

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成28年12月6日(14:00~16:00)

## 次回までの具体的な改善計画一覧（1～9）

### 1. 初期支援（はじめのかかわり）

- ・新規の利用者様（利用開始後1カ月程度）については毎日の打ち合わせにおいて情報交換を行う。
- ・またケアスタッフが日々の関わりの中で気付いた事をアセスメントシート（利用者の課題分析の様式）に追記することで情報や生活の課題（ニーズ）の把握を進めていく。

### 2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

- ・全職員で本人の「～したい」を把握する為に、センター方式（認知症を持つ人の状態を知るための情報収集の様式）による本人理解を進める。
- ・また、「～したい」（長期目標）にはどのようなものがあるのか、例を調べ共有した上で、本人の発言等からそのヒントを医務ノートへ記録し把握につなげる。

### 3. 日常生活の支援

- ・2.「～したい」の実現と同様に、センター方式による本人理解を進める。

### 4. 地域での暮らしの支援

- ・ケアスタッフ全員で関わる為、現場ケアスタッフで割振り在宅利用者様のエコマップ（利用者と家族や社会資源との関係性を描き出した図）を作成する。
- ・1人で作成するわけではなく、不足部分についてはケアマネージャーを含めた全職員と協働して作成を進める。
- ・民生委員の照会についてはケアマネージャーが行う。

### 5. 多機能性ある柔軟な支援

- ・職員それぞれが多機能性と地域資源について意識して関われるよう、エコマップ（利用者と家族や社会資源との関係性を描き出した図）の作成を通して地域資源について学んでいく。作成にあたっては、あらかじめ地域資源の種類を周知した上で行う。

### 6. 連携・協働

- ・運営推進会議の議事録を現場用の回覧ファイルを使って周知し、現場職員が地域の方の声に触れる機会を作る。

### 7. 運営

- ・「6. 連携・協働」と同様に、運営推進会議の議事録を現場用の回覧ファイルを使って周知し現場職員が地域の方の声に触れ、問題意識を共有する機会を作る。

### 8. 質向上するための取組み

- ・研修の計画を再度（12月中）に立て直し、再度実施していく。
- ・リスクマネジメント（危機管理）については、学び直す機会をつくる。

### 9. 人権・プライバシー

- ・研修計画に沿い、身体拘束についての研修を年1回以上行う。

## 外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

## A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	—	—
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4	—	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4	—	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	1	—

## 【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・自己評価の用紙を見れば取り組んでいるのは分かりますが、これだけでは分かりにくい部分もある。
- ・マニュアル化などの仕組みとして、「誰が、いつ、どこまで」の仕組みを明確にしていくとよい。

## 【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・計画は立っているが、資料だけでは内容が見えてこない。
- ・アクションが起こせなかつたとあるが、本来であれば得意な部分だと思う。そこをもうちょっと具体的に誰がいつやるかという計画をしてしまえば結果は出てくると思う。

## 【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・文章・言葉（カタカナ等）が分かりにくい。シンプルに。（誰が見ても分かりやすいように）

## 【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・2ヵ月ごとの会議やボランティア等しか関わりがないので、評価してよいのか悩む。
- ・ボランティアの要請が一元化しているのかどうか。部門、窓口がはっきりしていると分かりやすい。
- ・法人内の配置（人数、場所）が分かりづらい。
- ・評価の目的等を現場職員に説明した上で、自己評価出来るようにしていく事が必要。
- ・事業所の管理者等が方向性を示して、事業所としてどうするべきか伝えた上で取り組んでいくとよい。

## 【改善計画】※後日記入

- ・事業所自己評価（1～9）の、「次回までの具体的な改善計画」を一覧化し、それぞれの項目ごとに担当職員を決め、毎月の職員会議で進捗報告を行い、改善計画の確認を行う。

## B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	—	—
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	—	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	—	—
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	5	—	—

### 【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・福祉コロニーのように、多数の施設が密集しているので、施設や敷地に入りづらい。
- ・年に1回くらいは施設見学があるとよい。

### 【前回の改善計画】

- ・必要と判断し、玄関自動ドアに事業所名を表記し、目の前の駐車場入り口に案内板を設置しました。敷地全体の地図については法人と検討してまいります。

### 【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・行事等（納涼祭、ふれ愛デイ）参加しやすい。
- ・サロンのようなものがあるとよい。
- ・用事がないと入りにくい
- ・実際に現場を見ないと分からない。

### 【今回の改善計画】※後日記入

- ・事業所に来やすいよう、老人会の方を招待する行事を月1回以上計画し、行事のお知らせを配布の上定期的に参加していただく。
- ・運営推進会議の開催時に事業所の様子を見学していただく時間を設ける。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	—	—	5
1	職員はあいさつできていますか？	5	—	—
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	—	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	—	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・サンフラワーとしては知っているが、ケアセンターは知られていないと思う。
- ・次回の改善計画としてやっていることをあげていくとよい。
- ・クリニックの関係で紹介はあるが。
- ・入口に大きな看板があるとよい。

【前回の改善計画】

- ・特になし

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・次回、改善計画をあげる場合に、実際に行っている内容があると思うので、それを入れた方がよい。
- ・関わっているので知っているが、近所の方も関わりがない人には知られていないと思う。
- ・敷地の入口の大きな看板の所に、他の施設のように相談が出来るというような表示をするといいのでは。

【改善計画】※後日記入

- ・白髭神社で行われる年2回（4月・11月）のお祭り、元日の初詣への参加は毎年計画し、職員と利用者で地域へ出向く機会を確保する。

#### D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	—
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	—	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	1	—
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	—	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・マルベリー館での期日前投票などで、職員を見かけた。
- ・馴染みの店にいくなどができると良い。私的な部分を支えてもらえるとよい。

【前回の改善計画】

- ・地域（桑絹地区）のイベントには出来るだけ利用者様と参加してまいります。自治会のお祭りに関しては4月に参加させていただきました。11月にも参加予定となっております。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・介護サービスは暮らしを下支えするものでなければならない。それなのでこのような項目があるという事を考えなければいけない。そして、職員にもこのことを説明して伝えていく必要がある。カンファレンス等で説明をしてはどうか。

【改善計画】※後日記入

- ・本人や家族に、送迎時や事業所に来園時、登録者以外のご近所の方で悩み等がある方がいないかどうかを登録利用者又は家族の中から月に1回以上確認し、記録する。その中で相談につながった場合、事業所としての関わりを検討の上対応していく。

## E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	—	4	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	1	—
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	—	3	2
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	2	—	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	1	—

### 【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・検討事例や地域での取り組みはあるんですか。  
→現状、地域の事例検討や取り組みはありません。

### 【前回の改善計画】

- ・特になし

### 【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・地域の事例検討というのは介護保険法のどこにも乗ってはいないが、本当の過疎地で施設が全然なくてそれこそ要介護者になったあ까つきには、隣町の遠くに消えていなくなってしまう。そのような所に小規模多機能をみんなの希望で建てて、そこが相談の拠点になったという事例があるからこのような質問がある。
- ・国としては、地域の相談拠点として成長してほしいという願望があると思う。行政としても、同様に思います。

### 【改善計画】※後日記入

- ・登録利用者本人や家族からご近所の情報収集を行い、その中の検討事例や改善提案を運営推進会議の際に委員全員で話し合い、地域での取り組みにつなげていく。

## F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	—	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	—	—	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	—	4	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	—	4	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	—	2

### 【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・民生委員やっていた時は、連絡網に入っていて、連絡が来たことがあります。
- ・地域の防災訓練はない。
- ・スポット的に起こるのは火災だと思うが、どのように利用者の避難や救助をするのか。
- ・非常食の賞味期限前に試食として近所に炊き出ししては。（ふれ愛デイなどの時にも）

### 【前回の改善計画】

- ・災害時の連絡については、これまで通り、緊急通報を通して地域の代表の方へ、またインターネットの災害用伝言板で安否情報の連絡を行ってまいります。
- ・防災等についてのお知らせを、定期的に行ってまいります。

### 【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・このような機会を運営推進会議を通して出来るようにするというのが、国と考えている所ではあると思います。
- ・地元の皆さんも火災は心配だと思うので、訓練は確実にやっていただきたい。

### 【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議にて年1回以上、防災計画の内容を報告し、委員の方々に知っていただく機会を作る。